資料１：聖籠地場物産館の今後の方針に関する意見について

今後の地場物産館をどう考えるか？

ハードについて

○ 機能
- 単独の直売所
- 店内に地場の特産品をＰＲできるスペースを設置
- 観光案内所の併設

インショップより単独の直売所
宣伝・ＰＲの強化が必要

現在の建物は現状に合っていない
新たな店舗・形態やレイアウトの改善が必要

○ 建物
- 建て替えが必要
- 建物の規模縮小
- 販売に応じた規模、広さ
- コンテナを利用した店舗
- 利用者に分かりやすいレイアウトに
- 地元食材を使ったイートインを併設

場所は現在の位置かその周辺が良い
駐車場の利便性は検討が必要

○ 位置
- 現在の場所が利便性が高い
- 既存エリアの中で駐車場を利用しやすい場所へ

ソフトについて

○ 商品
- 品揃えの充実
- 珍しい品物の取入れ
- プラントにない品物
- 季節ものの商品
- 東港の食品会社の商品
- 単身者向けの商品
- 年中提供できる商品
- 惣菜の充実
- 若者向け商品（パフェ・ジェラート）
- バーベキューセットの販売
- 米粉を使った商品
- 今後生産が見込まれる園芸作物

品揃え充実や他店との差別化が必要

若者にも好まれる雰囲気づくり
直売所以外の充実も

○ 店づくり
- 選んでもらえる店づくり、積極的なＰＲ
- ゆっくりできる場所
- 若者も集まれるおしゃれなテナント
- 若者に向けたテナント募集
- プラントとの差別化
- 地元食材を使ったイートイン

利用しやすい営業時間

○ 体制
- 年中営業（休業日月１回：5月～12月）
- 出荷に関する指導会
- 営業時間を時期に合わせる

給食センター・加工センターとの連携

○ 販路
- 学校給食への提供
- 加工センターの製品の販売

加工センターの販路としても活用

○ 加工センター
- 加工センターとの連携、タイアップ
- 果物の加工
- 漬物の生産

（利用がない、製品の置き場所がない）